

## 年 頭 の 辭

會 長 山 岡 武

昭和 25 年の新春を迎ふるに當り、昨年中に於ける當協會並に鐵鋼界の足跡を顧みると共に、本年に於ける當協會の發展と鐵鋼技術並に業界の隆盛を會員諸君と共に祈念したい。

24 年度に於ける鐵鋼界の推移は多事多難ではあつたが、鑛石、燃料その他の諸原料の輸入が比較的圓滑に行はれた爲鋼材の生産は目標の 180 萬屯の達成はほぼ確定と見られ、生産の安定が強く感ぜられるに至つた。

昨年に於て鐵鋼技術上特筆すべきは米國の鐵鋼技術者數氏の來訪であつた。その中特にヘイス、マツクラウド、ヒルの三氏は全國の鐵鋼關係の工場を具さに視察し熱意を以て技術の實地指導に當り、我が國の戦後低下した鐵鋼技術に強い刺激を與へた。本會は三氏を名譽會員に推し、その功績を讃へた次第である。

本年は我が國より米國へ鐵鋼技術者を派遣して彼の地の最新の技術を收得する計畫がありこれが實現する時は本邦の鐵鋼生産技術に寄與する所又大なるものがあると思ふ。昨年中に鐵鋼補給金の一部は削減せられたるも本年度中にはその全廢が豫想され、鐵鋼業に携はるものとして一層經營の合理化技術の向上によつて此の苦境を克服せねばならぬと覺悟して居る次第である。

鐵鋼製品の輸出は我が國の經濟獨立を計る上から緊急のことである。然るに最近の歐洲各國に於ける鐵鋼生産の復興或は近東の印度の鐵鋼生産の増強等を見ればその品質價格に於ても油斷ならぬ狀況にあり、我々は常に國際的に廣い關心を持ち生産の増強に、品質の向上に努力を傾けなければならぬ。

さて、日本鐵鋼協會の實狀に就ては昨年 of 年頭に際し詳しく申述べた如く本會の最も苦慮している點は會員の會費の納入が豫定額に達しないことである。然し去年は未納者の數も可成り減じたが今一息といふ處なので會員諸君の一層の御支援をお願いする。本年より會費を正會員年額 500 圓（去年は 300 圓）に改正したが、これも 48 頁の會誌代に充當するに過ぎない。會誌發行以外の會の運營の費用は維持會員の支援によるところが大で今後も一層の御支援をお願いする次第である。

本會の生命と言ふべき會誌も漸く毎月 48 頁のものを發行出来るようになつたが、應募原稿は充分消化しきれず近き將來に於て更に増頁を考へねばならぬと思つている。最近入荷した獨逸の Stahl und Eisen 誌に就て見るにその發行は月 2 回に減じているが、その内容、體裁に至つては戦前のものと變りなくその復興振りには驚嘆している。本會誌も早く戦前の如き状態に立返り海外交換圖書として恥かしからぬ域に達せしめたいと念願している。

本會の研究部會として發足した本會、通産省及び鐵鋼連盟共同の研究會は銑鐵部會、製鋼部會、鋼材部會、特殊鋼部會、鑄物部會、鐵鋼二次製品部會共に活潑な動きをなしたが 7 月には更に熱經濟技術部會が設けられ同部會は本邦製鐵界の燃料事情の重大なるに鑑みて設けられたのであるが燃料の消費節約につき製鐵、製鋼、壓延全般の實際面につき鋭意検討中でその成果が期待されている。

本年は鐵鋼界にとつては多難な歳ではあるが又技術を鍊磨するには好適の歳と信ぜられる。年頭に際し會員諸君の御多幸を祈ると共に本會への絶へざる御支援を期待する次第である。